

不燃R巾木 ソリッドラインDX

施工説明書

このたびは、フクビ製品「不燃R巾木 ソリッドラインDX」をお買い上げくださりまして有難うございました。
下記の施工説明をよく御覧の上、正しく施工を行ってください。

施工動画はこちらから
ご覧ください。

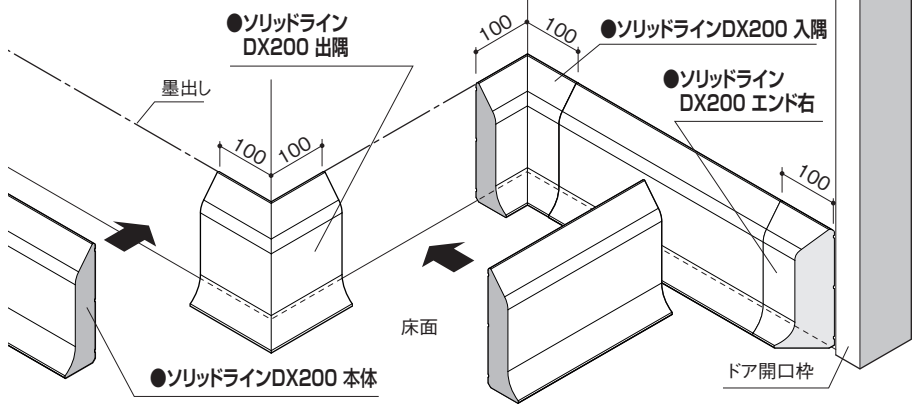


注意 ■設計・施工時の注意

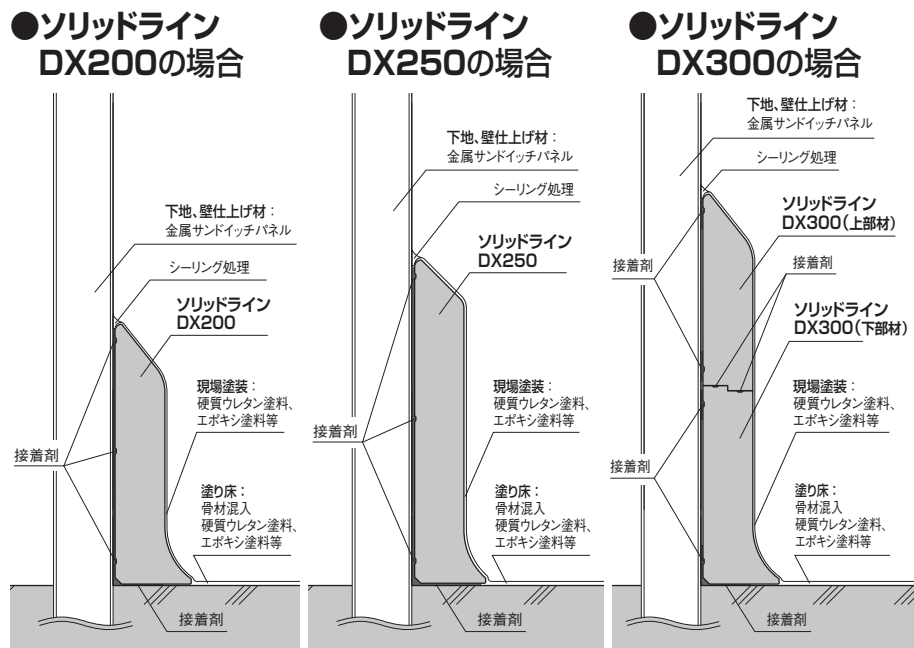
- 現場の温度が5℃以下の場合は施工しないでください。
- セメント系の材料です。割れやすいので、取り扱いに注意してください。
長さ中央付近を両手で持って慎重にお取り扱いください。
- 本製品の在庫保管や施工時の一時保管の場合は、雨の当たらない所に平置きしてください。
- 切断時は粉塵にご注意ください。防塵マスク、安全メガネを使用してください。
- 廃棄する際は、産業廃棄物扱いとしてください。
- 塗り床はご使用になる塗料の施工要領に準拠してください。
- 冷凍庫でのご使用については、担当者にお問い合わせください。

製品外観図

役物(出隅・入隅・エンド部材)を先に施工の後、本体直線部施工の順で施工します。



参考納まり図



同梱部材一覧

※DX300は上下部材1組で1セットになります。

製品図	呼 称	形 状	規格(mm)	梱包入数
①ソリッドラインDX200	①ソリッドラインDX200 本体		L1,000 × W58 × H200	2本
②ソリッドラインDX250	②ソリッドラインDX250 本体		L1,000 × W55 × H250	1本
③ソリッドラインDX300※	③ソリッドラインDX300※		L1,000 × W58 × H150	2セット

別売部材

※DX300は上下部材1組で1セットになります。

形 状	呼 称	規 格 (mm)	梱 包 入 数
出隅 ④	④DX200 出隅	L100x	2個/箱
入隅 ⑤	⑤DX200 入隅	W100xH200	2個/箱
⑥	⑥DX250 出隅	L50xW50xH250	2個/箱
⑦	⑦DX250 入隅	L100xW100xH250	2個/箱
⑧	⑧DX300 出隅※	上部材 L100xW100xH150 下部材 L100xW100xH154	2セット
⑨	⑨DX300 入隅※	上部材 L100xW100xH150 下部材 L100xW100xH154	2セット
⑩	⑩DX200 エンド左	L100x	2個/箱
⑪	⑪DX200 エンド右	W58xH200	2個/箱
⑫	⑫DX250 エンド左	L100x	2個/箱
⑬	⑬DX250 エンド右	W55xH250	2個/箱
⑭	⑭DX300 エンド左	上部材 L100xW58xH150 下部材 L100xW58xH154	2セット
⑮	⑮DX300 エンド右	上部材 L100xW58xH150 下部材 L100xW58xH154	2セット

接着剤	シーラー	スペーサー
●浴室水廻り用接着剤 フクビボンド(333ml) 梱 包: 20本入/箱 (バラ出荷対応可)	●シーラーCS-1 (200ml) 梱 包: 10缶入/箱 (バラ出荷対応可)	●サッシスペーサー10 梱 包: 1000個入/箱 (100個単位出荷可)
●接着剤PX2000(333ml) 梱 包: 10本入/箱 (バラ出荷対応可)		

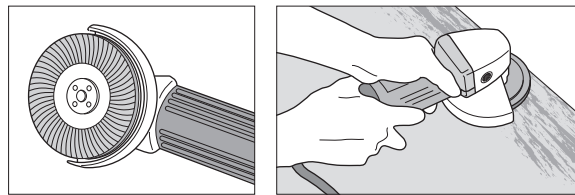
施工手順

手順1. 床・壁の不陸を調整する

下地をサンダーで平滑にします。

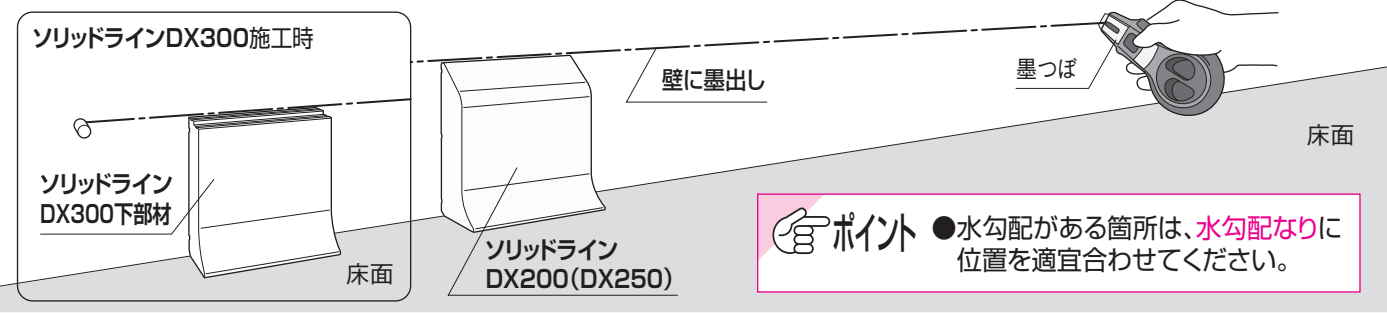
ポイント ●粉塵を取り除き、下地をキレイにしてください。

下地凹凸のサンダーがけ



手順2. 墨出し

製品上端の高さに合わせて、壁に墨出しをします。床に不陸がある場合は、不陸が最も高い位置を基準としてください。
ソリッドラインDX300施工時には下部材上端の高さを基準としてください。

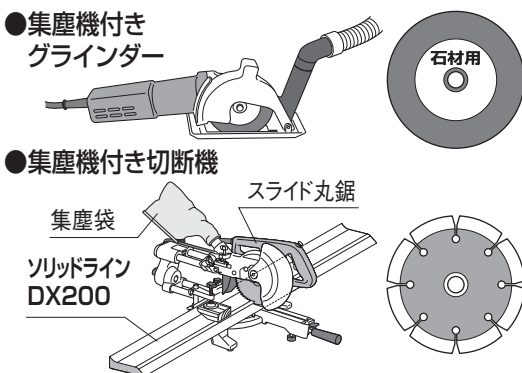


ポイント ●水勾配がある箇所は、水勾配なりに位置を適宜合わせてください。

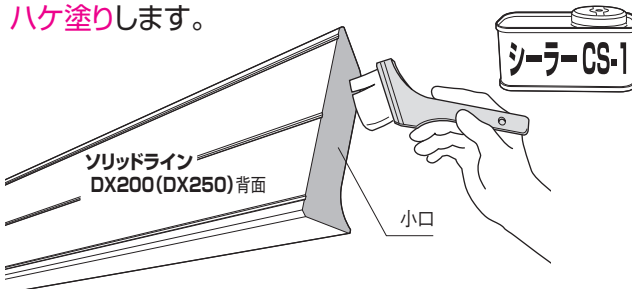
手順3. 切断

- ①ソリッドラインDXをグラインダーとサイディング用刃、もしくは石材専用刃でカットしてください。
- ②長さ調整の際は入隅出隅部材、エンド部材の切断より本体の切断を優先してください。

ポイント ●集塵機付切断機、もしくは集塵機付グラインダーを使用してください。

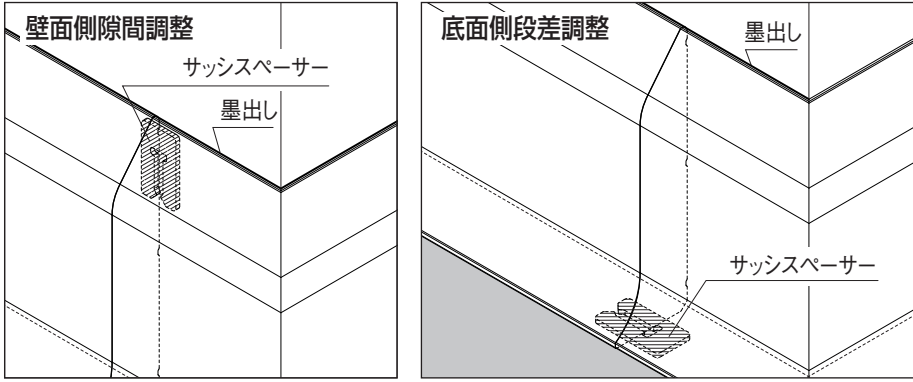


③切断面の小口にシーラーCS-1(別売部材)をハケ塗りします。



手順4. 本体施工位置合わせ

手順2の墨出しに合わせてソリッドラインDXを仮置きし、ジョイント部で段差ができないように施工位置を決定します。



ポイント ●壁と製品の隙間、床と製品の隙間が発生する場合は、くさびやスペーサーを入れて位置を固定してください。

手順5. 接着剤塗布と固定

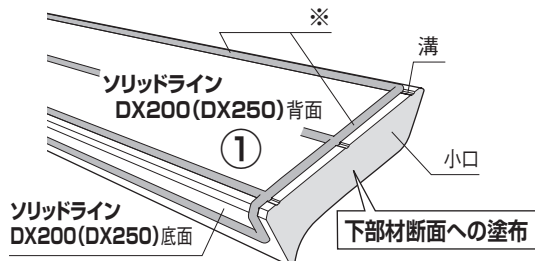
役物(出隅・入隅・エンド部材)を先に施工の後、本体直線部施工の順で施工します。

■接着剤の塗布位置について 接着剤(フクビボンドまたはPX2000)は溝に沿って盛り上がる程度を十分に塗布してください。

ソリッドラインDX200・DX250 施工手順

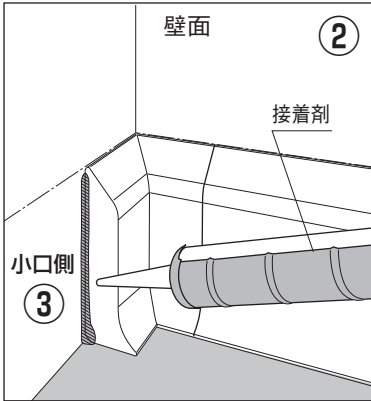
●直線部・端部・役物の塗布位置

背面は溝に沿って3本、底面・端部はそれぞれ1本塗布します。



※端部全体に接着剤が行き渡り、かつ、はみ出さないように塗布してください。

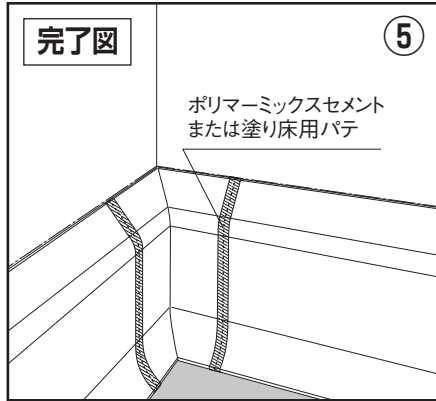
①部材の背面・底面・端部への接着剤塗布



②墨出しの位置に合わせて接着固定
③小口側への接着剤塗布



④部材の接着固定

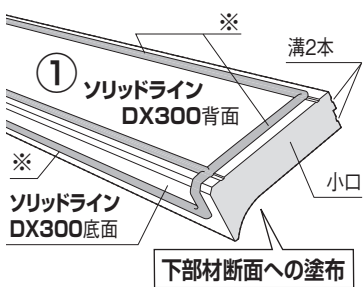


⑤ポリマーミックスセメントまたはパテでの隙間埋め

ソリッドラインDX300 施工手順

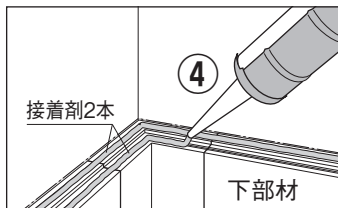
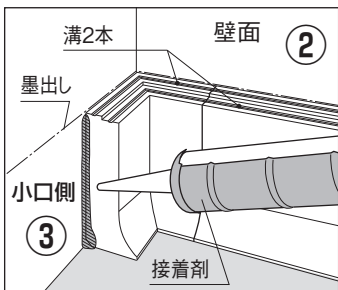
●直線部・端部・役物の塗布位置

下部材背面は溝に沿って2本、底面・端部はそれぞれ1本塗布します。



※端部全体に接着剤が行き渡り、かつ、はみ出さないように塗布してください。

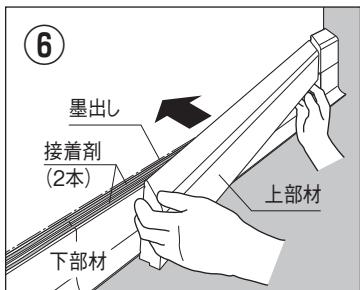
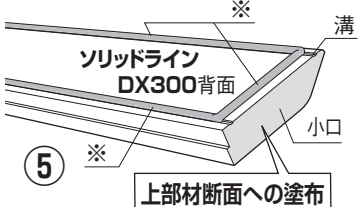
①下部材の背面・底面・端部への接着剤塗布



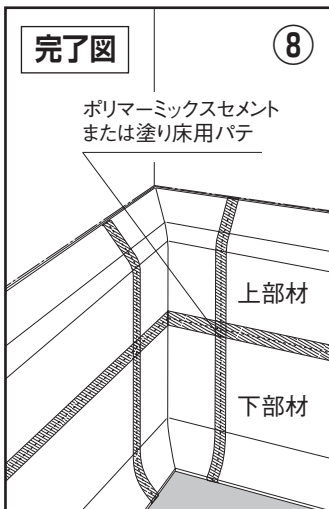
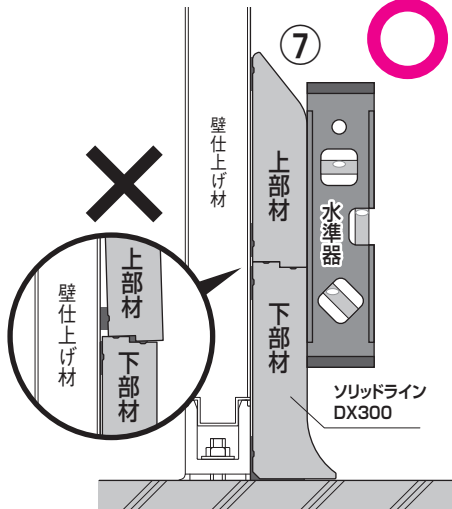
②墨出しの位置に合わせて下部材の接着固定
③小口側への接着剤塗布
④下部材上部溝への接着剤塗布

●直線部・端部・役物の塗布位置

上部材背面は溝に沿って2本、端部はそれぞれ1本塗布します。



⑤上部材背面への接着剤塗布
⑥上部材の嵌合・接着固定
⑦上・下部材のズレ・段差調整

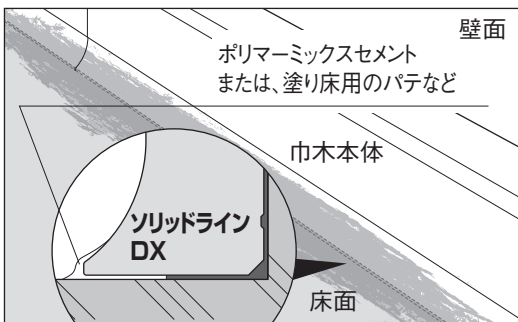


⑧ポリマーミックスセメントまたはパテでの隙間埋め

注意 ●本製品と壁との間に隙間があると、台車等をぶつけた際に製品が割れることがあります。隙間は必ずポリマーミックスセメントまたは塗り床用のパテで埋めてください。

ポイント ●ジョイント部で段差ができない位置に接着してください。万一、取り合い段差が発生した場合は、ポリマーミックスセメントまたは塗り床用パテで埋めてください。

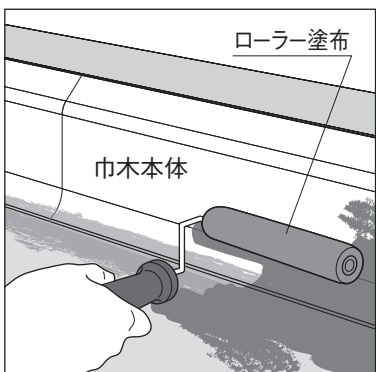
手順6. 塗り床施工



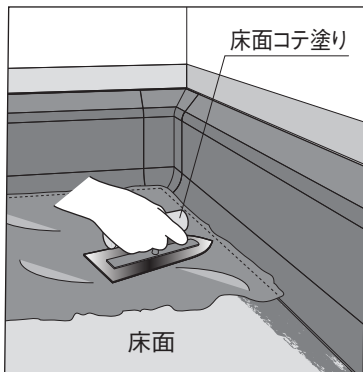
①ソリッドラインDXと床との隙間を埋める 巾木本体と床との隙間をポリマーミックスセメントまたはパテなどで埋めてください。



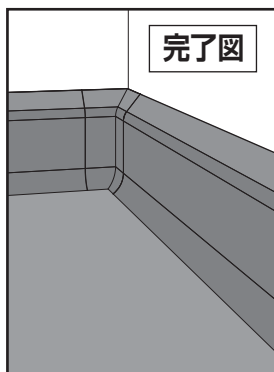
②塗り床用プライマー塗布 塗り床用のプライマーを巾木本体にローラーまたはハケで塗布します。



③ソリッドラインDXの塗り床施工 塗料を巾木本体にローラーで塗布します。



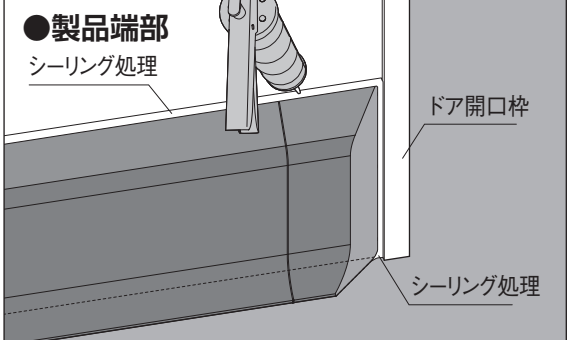
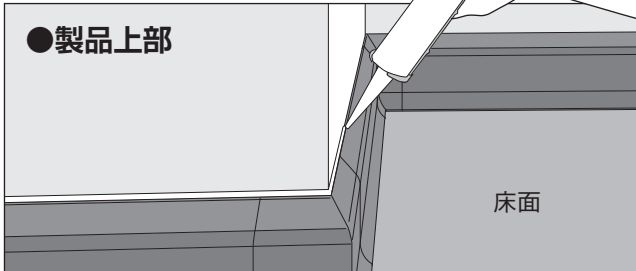
④床の塗り床施工 ③で施工した巾木本体の塗料が完全硬化後に床を塗ります。



完了図

手順7. シーリング処理

仕上げにシーリング処理をしてください。



施工時の安全衛生上の注意は
こちらからご覧ください。



フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町33-66 ☎(0776) 38-8013 〒918-8585
札幌 盛岡 仙台 宇都宮 北関東 千葉 東京 神奈川
新潟 北陸 静岡 名古屋 大阪 岡山 広島 福岡
鹿児島 沖縄

<https://www.fukuvi.co.jp>